



小学校における学級担任業務の
支援の取組

～学級事務支援員の配置を通して～



千葉県教育委員会
野田市教育委員会

1 はじめに

第2期 千葉県教育振興基本計画

新みんなで取り組む「教育立県ちばプラン」

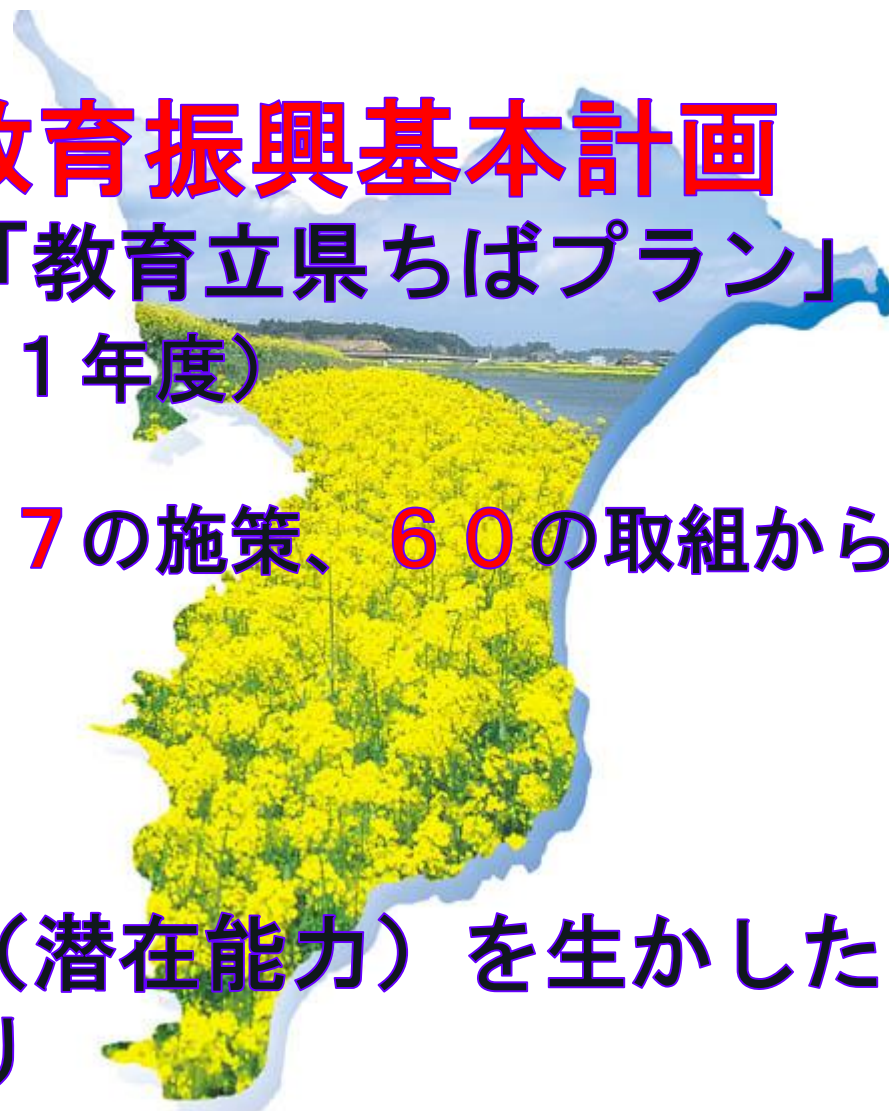
（平成27年度～平成31年度）

3つのプロジェクト、17の施策、60の取組から構成されている。

プロジェクトⅡ

ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした
教育立県の土台づくり

～元気プロジェクト～



1 はじめに

施策 7

教育現場の重視と教員の質・教育力の向上

重点的な取組(4)

- (1) 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
- (2) 信頼される質の高い教員の育成
- (3) 子どもの多様化に対応したきめ細かい教育の推進
- (4) 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援



1 はじめに

事業名

学校の業務改善の推進

事業概要

教職員の負担軽減に向けた取組を進めることにより、**教職員が子どもと向き合う時間を確保するとともに、教職員の心身にわたる健康の保持を図る。**



1 はじめに

平成27年度

- ・ 多忙化対策検討会議 年間5回開催
- ・ 「教職員の負担軽減のために～業務改善の現状を明らかにする～」という冊子を県内全校に配付

平成28年度

- ・ 多忙化対策検討会議 年間5回開催
- ・ 「心豊かに千葉の教育をすすめるために」リーフレットを各学校に配付



1 はじめに

平成29年度

- ・「多忙化対策検討会議」から「学校業務改善検討会議」へと名称を変更し、年間5回程度開催
- ・県立学校の教員に一人一台整備されるパソコンを活用し、業務改善を推進
- ・教育庁から学校に発出される調査・報告文書の量及び内容について見直し
- ・県内各学校から数校を抽出し、「教員等の出退勤時刻実態調査」を行い、業務改善推進のデータを得る

1 はじめに

平成29年度

- ・ 学校業務改善検討会議（拡大会議）の実施
「県立学校、市町村立学校における長時間労働の実態」についての情報共有
- ・ 管理職の業務改善に向けた意識改革
各教育事務所管内において、小・中・高・特別支援学校・義務教育学校の副校長・教頭を対象とした研修会を実施し「業務改善」をテーマとした協議を実施
- ・ 野田市の「学校業務改善加速事業」実施に向けた支援と県内への事業内容の周知を行う

小学校における学級担任業務の支援の取組 ～学級事務支援員の配置を通して～

千葉県教育委員会
野田市教育委員会



本日の説明内容

野田市の概況

実践研究のねらい

実践研究の実施状況

実践研究の成果

今後の取組予定

加配事務職員の活用状況

その他



野田市の概況

人口

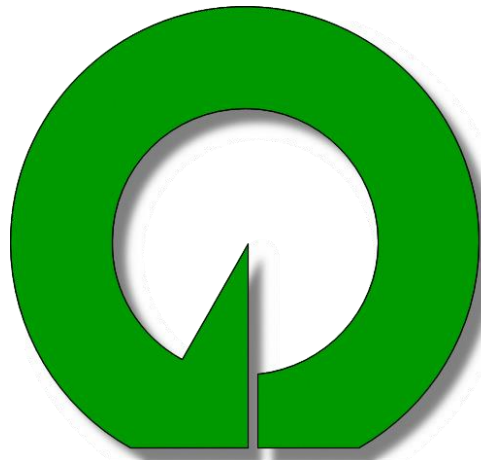
154,731人
(H29.9.1現在)

学校数

小学校;20校
中学校;11校

地域性

- ・ 東を利根川、西を江戸川、南を利根運河によって、三方を河川に囲まれている。
- ・ 古くから「醤油の町」として発展してきた歴史がある。



「の」を図案化

**親睦
融和
団結**



特色ある取組（教育環境の整備）

年度

26

土曜授業

22

ボトムアップ研修

20

学校地域支援本部

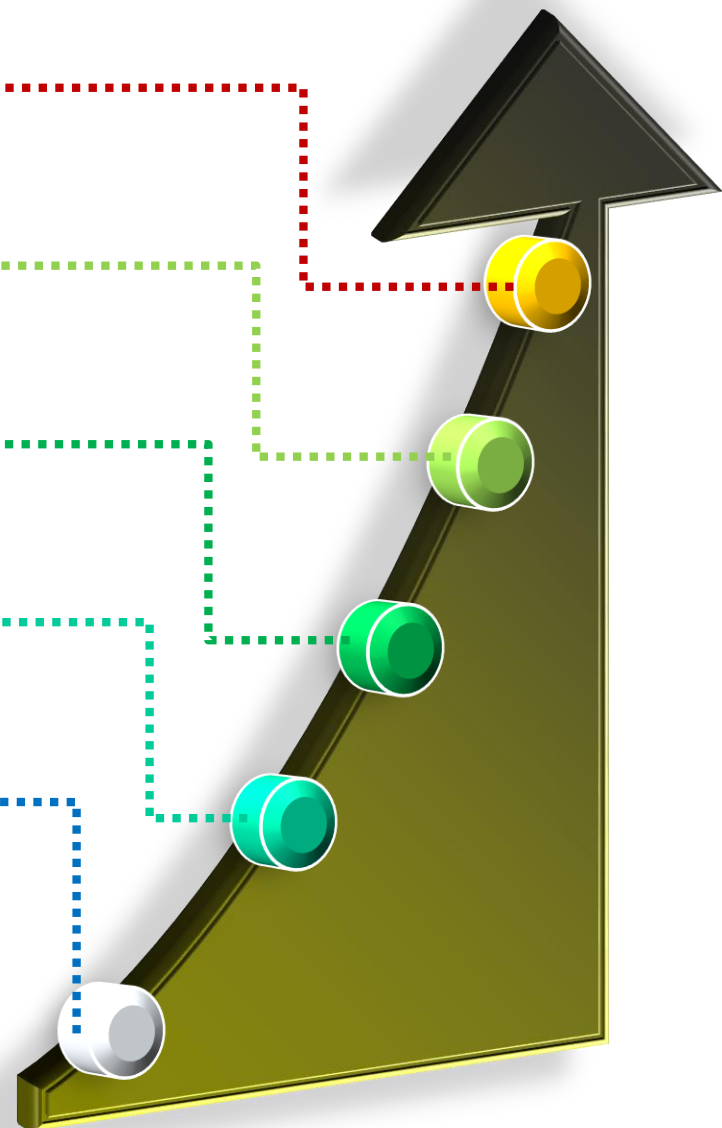
18

2学期制

14

サタデースクール

平成29年度の土曜授業 年間14回



業務改善の取組



チーム学校の取組

- ・サポートティーチャー
- ・要配慮児童生徒支援員
- ・音楽非常勤講師



多忙化解消月間の取組

- ・7月と12月に実施



夏季休業中に連続10日間の閉庁日

- ・研修や出張を設定しない。機械警備期間



勤務時間の調査

- ・出退勤ソフトの配付



校務支援システムの導入



部活動ガイドラインの作成

もっと
子ども達と
関わりたい！

多忙感！
仕事量が多い！

研修時間が
もっとほしい！

取組

- ☐ 学級事務支援に特化した人材の配置（全小学校）
- ☐ 業務改善につながるマネジメント（管理職意識改革）

ねらい

- ① 学級担任の事務内容と量の明確化と負担感の軽減
- ② 子ども達と向き合う時間や教材研究の時間の確保
- ③ 時間外勤務の縮減
- ④ 業務改善に関する意識（時間管理）の向上

⑤ 業務改善に関する意識（時間管理）の向上

業務改善ポリシー

小学校学級担任の業務の在り方

- ・学級担任の事務内容と量を調査し、削減できる事務内容と量を明らかにする。

教員の多忙化解消

- ・学級事務に対する負担感については80%以上の担任が「学級事務が減った」と感じるようにする。
- ・時間外勤務の縮減を図り、時間外勤務月80時間以上の勤務者を昨年度比10%減らす。

教員の指導力向上

- ・子どもと向き合う時間の確保に努め、昨年度に比べてどのくらい増えたか明らかにする。
- ・教材研究の時間の確保に努め、昨年度に比べてどのくらい増えたか明らかにする。

業務改善に関する意識（時間管理）の向上

- ・意識調査において、80%以上の担任が「勤務時間を意識できた」と感じるようにする。

（１）学級事務支援員の配置

- 全小学校（20校）配置（各1名ずつ）
- 2～6時間の勤務時間（各学校の規模による）

（２）学級事務支援員の仕事内容

- 教材づくりの補助や授業準備に関すること
- 各種資料や学年通信等の印刷や配付をすること
- 小テスト等の簡易な丸付け作業等に関すること
- 学級費等の集金業務補助に関すること
- その他、学校長が認めた簡易な作業等（掲示等）

実践研究の実施状況

(3) 第1回業務改善協力者会議

・学識経験者、校長会代表、教頭会代表、教務主任部会代表、教諭代表、保護者代表、事務部会代表で構成。

(4) 校長会・教頭会の研修

(5) 先進校視察

(6) アンケート調査

・全ての担任と学級事務支援員にアンケート調査を実施。（前期・後期の合間に実施）

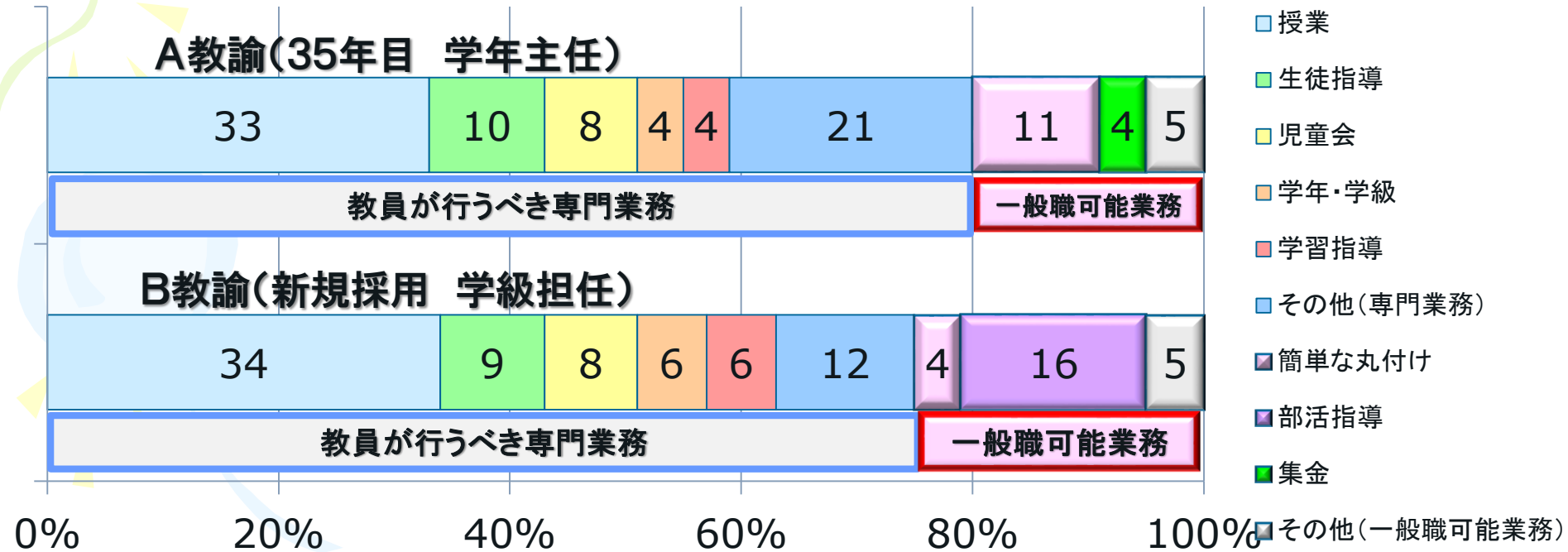
(7) 学級担任の事務量調査

(8) その他

・教頭会による独自アンケート調査 等

・教頭会が学級事務支援員の効果的な活用をねらい、独自項目でアンケートを実施。教頭会研修部で内容を整理し、次の教頭会で今後の在り方を発表した。

(1) 学級担任の業務の在り方「専門職業務と一般職業務」

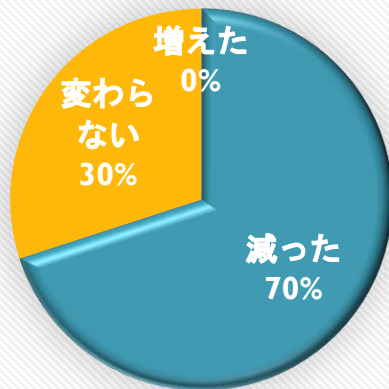


学級担任の業務内容を見直すことで、業務量を減らす！

- ・専門職としての業務（75～80%）と一般職でもできる業務（20～25%）の弁別をつける。
- ・特に、ベテラン教員の担任でも、約20%の業務は一般の方でもできる業務であることがわかった。人に任せる意識を持たせたい。また、一般職でもできる業務については、積極的に分業（学級事務支援員に依頼等）を考えていくことが重要である。

(2) 教員の多忙化解消「学級事務支援員導入に関する成果」

担任の事務量



■ 減った ■ 変わらない ■ 増えた

効果があった依頼内容の上位

- ・資料印刷 54%
- ・簡易な丸つけ 15%
- ・出席簿 10%
- ・集金業務 8%

学校規模による有効感の違い

小規模ほど効果大

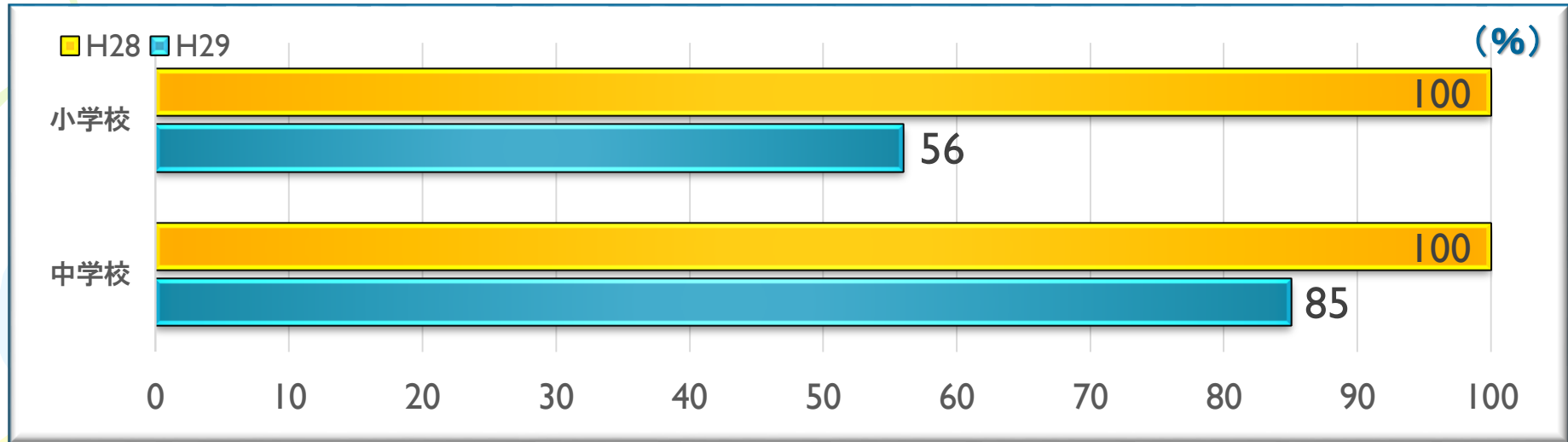
- ・簡易な丸付け
- ・集金業務

大規模ほど効果大

- ・資料印刷
- ・教材作成

- ・学級数により依頼内容が変容する。
- ・規模が大きくなるほど、学年共通のものを依頼することが多くなる。
- ・規模が小さくなるほど、1つの仕事にかかる時間が多いものを依頼することが多くなる。

(2) 教員の多忙化解消「時間外勤務80時間以上の状況」



学級事務支援員配置による効果

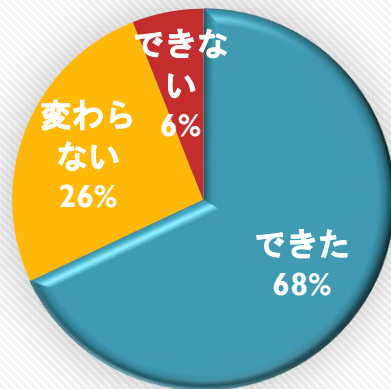
- ・ 支援員への依頼分だけ業務が減ったり、子どもと向き合う時間が増えたりする直接的効果。
- ・ 業務を依頼するため自分の仕事を仕分け、見通しを持つ間接的効果。

(3) 教員の指導力向上への効果

- ①子どもと向き合う時間の確保
「増えた」50%
「変わらない」50%「減った」0%
- ②教材研究の時間の確保
「増えた」47%
「変わらない」52%「減った」1%

(4) 業務改善への意識

勤務時間の意識



■ できた ■ 変わらない ■ できない

肯定的回答の上位代表例

- ・ 仕事の効率化を意識した。
- ・ 仕事の優先順位を付けるようにした。
- ・ 意識改革の必要性を感じた。
- ・ 学校全体の取組として意識している。

見えてきた新たな課題

- ・ 「変わらない」「できない」の内容は、若年層とベテラン層の大きな違いが見られた。世代層にあった対策・取組が必要となる。

若年層（経験10年未満）

- ・ 効率よく仕事を進めることができない。
- ・ 何を依頼すればよいか分からない。

仕事の進め方を含めた若年層研修の充実

ベテラン層（経験20年以上）

- ・ 自分でやるべき。自分でしたい、見たい。
- ・ 仕事はいくらでもある。

時間対効果等、更なる意識改革の推進

社会のステレオタイプな教師像も一因
(例えば保護者から) もっと宿題を もっと〇〇して もっと…

今後の取組予定

(1) 第2回業務改善協力者会議の開催

(2) 追跡調査のための再アンケート

(3) 業務改善研修会

(4) 研究冊子の作成と配付

加配事務職員の活用状況

(1) 研究計画について

(2) 調査について

(3) まとめについて

(4) その他

中学校への配置

意識改革の進め

■教育長の言葉

■校長会、教頭会の取組

⇒ マネジメントの姿勢
⇒ 実態把握

■モラルアップ委員会

ご清聴有り難うございました

コウノトリが舞う、歴史と文化が彩る野田市へ
是非、お越し下さい！

Noda City Film



18

19

Noda City Film



20

21

22

Noda City Film



23

24